

岩泉の明日の林業をつくる林業体験会について

1 はじめに

岩泉町は、多様な樹種からなる豊富な森林資源を活用した、林業・木材産業が行われている地域です。

この豊富な森林資源を循環利用するためには、次代を担う若い世代の新規就業者の育成・確保が重要であることから、林業に対する興味や理解の向上を図るため、令和3年7月26日、岩泉高等学校の生徒を対象とした林業体験会が開催されましたので、その内容を御紹介します。

なお、本体験会は、町内の森林・林業・木材関係者等で組織する岩泉の明日の林業をつくる会(事務局:岩泉町)が主催し、指導には前川木材、岩泉町森林組合、岩泉町、地域おこし協力隊及び当所の職員が当たりました。

2 体験会の内容

参加者は1学年から3学年までの7名で、3コースに分かれて各機械(ハーベスタ、グラップル、チェーンソー)の操作を体験し、40分間で交代して行いました。

特にチェーンソー操作体験では、安全装備や操作における留意点等を説明した後に、エンジンの始動、丸太の玉切り及び斜め切り、

エンジンの停止までの一連の操作を指導者のサポートの下に行いました。

生徒は、初めて操作するチェーンソーの振動や音に戸惑いながらも、貴重な体験を通じて林業への理解を深めていました。

最後に、現場作業員によるスギ立木のチェーンソー伐倒とハーベスタによる造材のデモンストレーションを行い、生徒はプロの技術の凄さを感じていました。

3 体験会の効果

体験会に当たり、事前と事後に行った生徒へのアンケート結果からは、林業・木材産業に対する「危険、辛い」などのマイナスイメージは減少し、「格好良い、先端技術・機械」などのプラスイメージが大きく増加しており、就業先の選択肢として林業・木材産業を考えるきっかけを与えることができました。

4 おわりに

体験会の参加者の満足度は高く、中にはいわて林業アカデミーの受講を希望する生徒も現れています。

岩泉の明日の林業をつくる若い世代への架け橋として、本体験会の今後の継続的な実施が期待されます。

